



学校と地域をつなぐ



社会教育主事通信
～えにし～

松江市教育委員会
生涯学習課・学校教育課

2026/7/31(金) 第4号

放課後こどもプラン関係事業 **こどものための学びあい支えあい講座で安心！**

7月14日(火)に第4回の標題の講座を市民活動センターで開催しました。40名を超える児童クラブ・放課後こども教室・放課後等デイサービスの方々が集まり、演習や情報交換では、会場が活気にあふれていました。

今回は「こどもの人権を考える～「いじめ防止対策推進法」から学ぶ～」ということで、これまでの「いじめ」と、今の「いじめ」の捉え方の違いや、学校の体制・対応について講義・演習を通して理解を深めました。

講義では、「いじめ」に対する正しい知識を共有して組織で対応することと、学校や行政(生涯学習課)と連携することがこどもたちを守ることに繋がると強調されました。

参加者は中学校区ごとにグループになって演習もしたので、近くのクラブ・教室の現状や様子も分かり、横のつながりづくりにもなりました。

この講座を通して、今後も放課後のこどもたちの楽しく有意義な時間を支えていただけることを願っています。



家庭教育支援の取組① **親楽の様子を紹介します！**

育英幼稚園で7月2日(木)に親楽プログラムを親子で実施しました。昨年実施して好評だった親子研修会の内容を変えて「聞く耳ってどんな耳？」を親子で体験し、日頃の聞く姿勢について振り返ったことをもとに親同士で感想交流しました。前半の親子で親楽体験では、保育士経験のある親楽ファシリテーターにアイスブレイクから親子の触れ合いを取り入れてもらい、後半の親同士の交流では別の親楽ファシリテーターに進行してもらうことで、メリハリのある1時間となりました。参加した保護者の方々が我が子とも他の保護者とも笑顔で楽しそうに、かつ真剣に考えて交流している様子が伝わるすてきな親楽になりました。



家庭教育支援の取組② 親楽ファシリテーターの様子も紹介します！



親楽プログラムを進行する重要な役割を担っている親楽ファシリテーターも毎年養成講座で数を増やし、横のつながりと学びを深めて進化・成長しています。彼らの交流・学びの場として毎月「親楽カフェ」を市役所本庁舎で開催しています。7/10(金)の回では、今年度養成講座で親楽ファシリテーターになったばかりの方にも参加してもらうことができました。「家庭教育チーム まつえ親楽ファシリテーターズ」のますますの発展を祈ります。

ふるさと教育推進事業

高校生・大学生とミートアップ！

宍道中学校で7月8日（水）、総合的な学習の時間で宍道高校や県立大生との交流会を行いました。宍道中学校では、総合的な学習の時間を使って地域のひと・もの・ことに触れるにあたり、特にひと（人）との交流に力を入れています。そんなひと（人）とのつながりづくりの入口として今回の授業が実施されました。

宍道高校の探究学習コーディネーターであり、宍道のギャラリーCで「学びDesign 代表」を務める高橋椿太郎さんによるファシリテーションのもと、宍道中1年生が宍道高校生3名と県立大生3名と出会い・つながる一時間を過ごしました。

高校生・大学生の自己紹介の後、5・6人のグループを作り、高橋さんオリジナルの「価値観カード」を使ってゲームを楽しみながら自己や他者の内面を見つめてみました。山札から1枚ずつ価値観の書かれたカードを引いていき、自分が大切にしている価値観を2枚持っていくというもので。3枚目以降からは「迷うな～」「やっぱりこれかな～」と悩みながら、時間をかけて選んでいっていました。選ばれなかったカードはグループのみんなに分かるように出していきますが、「わたしはこれだ！」「それにする！」と、自分のカードと交換する様子も見られ、グループのみんなで一回一回注目しながらゲームが進んでいきました。最後に自分の選んだ2枚の価値観カードを理由を添えてグループ内で発表し、みんなの大切にしている価値観を「うんうん」と共感的に受け止めている様子でした。ゲームを通して中学生と高校生・大学生との距離がグッと縮まったように感じました。

今後は9月・11月に、ひと（人）から学んだことを、2年生でもの・ことにつなげていく計画だそうです。今後も宍道中学校の取組に注目したいです。



お問い合わせ先

生涯学習課（川神 拓人）

TEL 55-5288

FAX 55-5251

E-mail: s-kikaku@city.matsue.lg.jp



学校教育課

学び推進係（富谷 衡）

TEL 55-5341

FAX 55-5251

E-mail: manabi@city.matsue.lg.jp



バックナンバーは
こちらから